
ゼロ魔へGO!

ピンクの侍と腹黒い狸

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゼロ魔へGO！

【Nコード】

N2765T

【作者名】

ピンクの侍と腹黒い狸

【あらすじ】

ごくごく平凡な特撮好きな青年が、色々力をもらってゼロ魔の世界へ。

チートを超えたオリ主物語。

耐性のない方はご遠慮ください。

01「落ちて、落されて」(前書き)

なのは書くはずがこちら側の神がおりますた！
しばし、お付き合いください。

作者は褒めて伸びるタイプです。

01「落ちて、落されて」

？「お前は死んだ、だから転生させてやる」

「・・・は？」

目が覚めた俺が最初に聞いたのはそんな言葉だった。

その日はいつもと同じ日常。俺はレンタルした特撮ヒーローを見ながらすごしていた。

TV『天の道を行き、全てを司る男！』

「・・・いや、やっぱり平成ライダーはいいね～～～！」

俺の名は天地森羅、アニメ・特撮好きの一般ピープルだ。

『特撮』仮面ライダー』な思考の持ち主で特に平成ライダーが好き。今は仮面ライダーカブトがマイブームだったりする。

「いいな、俺もライダーに変身したいな～～～。」

「ポタ、ポタ・・・ザーーーーーー・・・」

「うわ、雨降ってきた。もうすぐ梅雨だな」

そんなことを考えながらプレイヤーのコンセントに手を伸ばす。

「ゴロゴロゴロ・・・ダガジャーーーーーン」

「アバババババババッ！」

その時起きた雷が、たまたま家に落ち。丁度いいタイミングでコンセントに手を伸ばした俺に通電、感電死しますた。

「そして冒頭へといたる」

？「なにを言っておる」

いえいえ、なんでも。ていうかこのオッサン誰？

？「ワシか？ワシは神だ」

「あ、上田さんですか」

神「ちがうわ！神、GOD！」

ああ、はいはい。紙で後藤さんなんだね。

神「全然信じとらん？！」

「いきなり神だ何だと言われても納得できるか!!」

神「なんじゃ、せっかく転生させてやろうと思っておったのに。」

「おお、偉大なる神様。一体私めにどのような御用ズツ?!」

神「いきなり大度が変わりよった、しかも最後に咬むってwww」

笑うな!! いきなり口調変えたから口の開閉に誤差が出ただけだ!!

「というか、本当に転生させてくれるのか?」

神「餅の龍じゃ」

6

モチのロンね、発音良すぎて別の文字に変換されてるよ。　　ハ*タ
メ発言禁止!

「で、転生するなら特典で力もえら得るんだろ?」

神「ふむ、すでに『肉体の成長限界突破・完全記憶能力・自然治癒力強化』などされておるが、まあいいじやろう。願いを5つ言うがよい。」

「じゃあ行く世界はネギ——「行く世界はもう決まっておるよ」——え?どこ?」

神「ゼロの使い魔じゃ、しかも召喚される使い魔になる」

な、なんだってー！ では慎重に選ばないと死ぬる。人間の使い魔だからルイズフラグだー！ 俺、実はカトレアが好きなんだ。アニメしかないけれど。

「じゃ・・・じゃあ1つ目は「全ての『虚無』の使い魔のルーン」あ、第四は空想具現化で」

神「ふむ、叶えよう」

「2つ目は『王の財宝』」

神「まあ、ありきたりじゃな」

うっせ！

「3つめは『任意発動可能な完全魔法無力化能力』」

神「う、うむ・・・」

「4つ目は『Fateのスキル』具体的に『高速神言』『気配遮断』『幸運』『直感』『黄金率』」

神「遠慮ないの・・・」

「5つ目は『金色の魔王化』で」

神「チート超えたの・・・」

「無理？」

神「いや、可能じゃ。では纏めると・・・」

名前：天地森羅
あまちしんら

性別：男

種族：人間（金色魔王）

【能力】

■ゼロの使い魔：契約されるまで使用不可能

□神の左手
ガンダールヴ

□神の頭脳
ミョズニートニル

□神の右手
ヴァインダールヴ

□神の心臓
リーヴスラシル

■宝具

□ 王の財宝 ゲート・オブ・バビロン

■ ネギま!!

□ 完全魔法無力化能力（任意で発動可能）

■ スレイヤーズ

□ 金色の魔王 ロード・オブ・ナイトメア

【スキル】

□ 肉体の成長限界突破

□ 完全記憶能力

□ 自然治癒力強化

□ 魔力：EX

□ 気：EX

□ 宝具 A + EX

□ 高速神言：A

□ 気配遮断：B

□ 直感：A

□ 幸運：A +

□ 黄金率：EX

神「・・・という感じじゃ」

「O k O k、あっそくだ、ゼロ魔以外の魔法って使えるの？」

神「使えんこともないが、精度が落ちるな。真名開放や金色の魔王がおる世界の力なら、通常どりの効果を発動できる。」

ならカトレアの病気は宝具で治療した方がいいかもな。ゼロ魔の水魔法や秘薬でも現状維持しか出来ないみたいだし。

「あ、そついえば俺って向ここの魔法使えるのか？」

神「問題無しじゃ。お前の体はわしが作ったものじゃし、入れる力に耐えられるように強化しておるからの。向こうで言う所のスクウェア？かの、四系統全てそこまで行けるぞ。しかも、肉体成長の限界を外しておるから、その先にあるペンタゴン、ヘキサゴン以上にも成れるわい！」

うわwww能力以前にすでにチートだった・・・。

神「それでは送るぞ、最初は修行場に送るからの、原作の10年前じゃ、その間に世界を回ってみるのも良いじゃろ。その後、お主の前に使い魔召喚の鏡をつなげるからの！」

「わかりました!!」

神「では、・・・レッツ降下♪」

「パカッ!」

「え?・・・・・・・・をおおおおおおおいいいいい・・・・・・」

そして、俺はゼロ魔世界に転生した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2765t/>

ゼロ魔へGO!

2011年5月15日15時34分発行